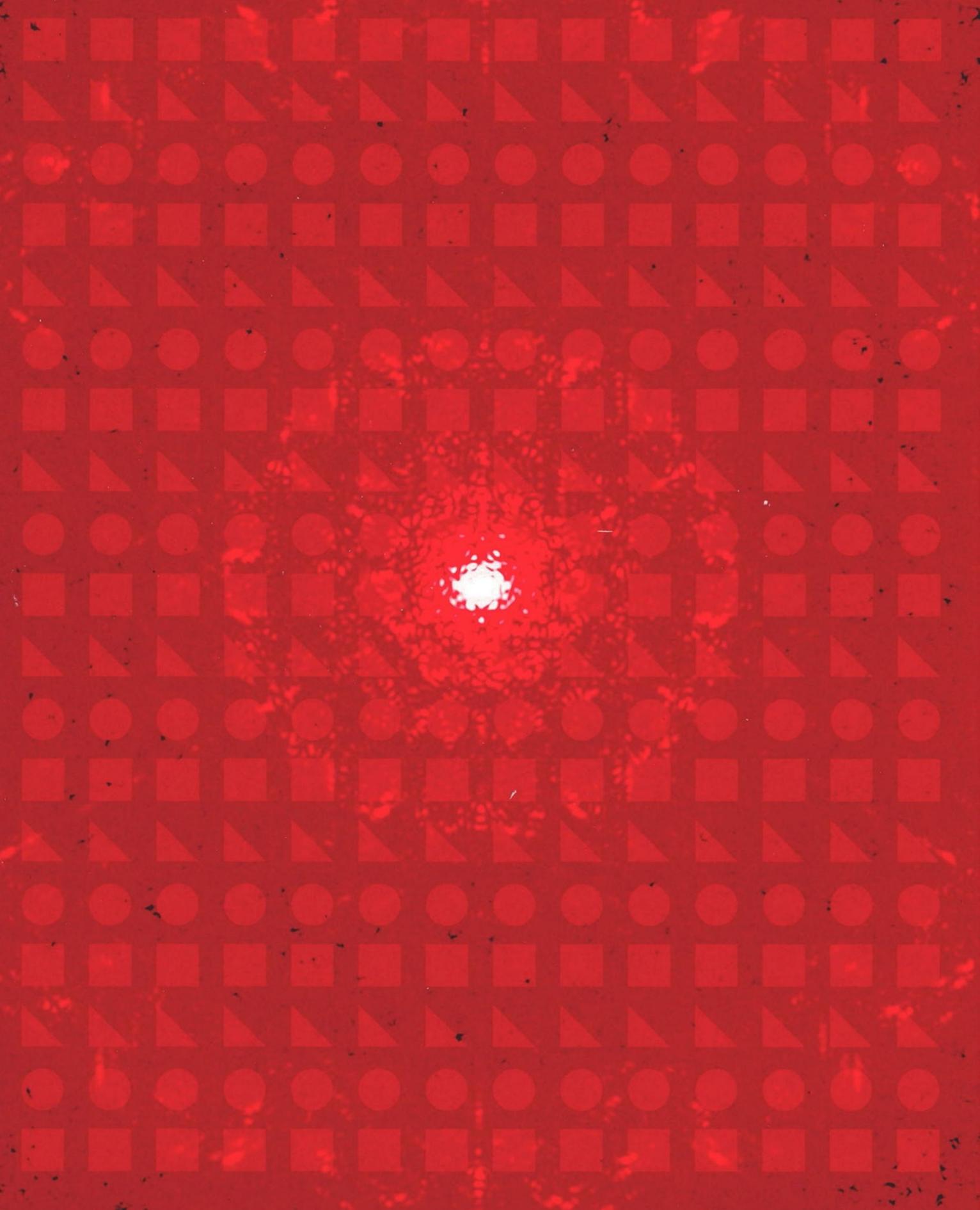


The 39th Kanagawa Art Exhibition 2003

# 第39回神奈川県美術展





The 39th Kanagawa Art Exhibition 2003  
**第39回神奈川県美術展**

I期展…[平面・立体]平成15年9月9日㈭～9月21日㈯

II期展…[工芸・書・写真]平成15年9月23日㈪～10月5日㈰

会場…神奈川県民ホールギャラリー

主催

神奈川県美術展委員会

神奈川県民ホール [(財)神奈川芸術文化財団]

神奈川県

共催

(財)厚木市文化振興財団

ハーモニーホール座間 [(財)座間市スポーツ・文化振興財団]

協賛

(財)神奈川県美術奨学会

(財)はまぎん産業文化振興財団

厚木巡回展

平成15年10月8日㈭～19日㈮ [10月14日㈭、15日㈮ 休館]

会場／厚木市文化会館展示室

座間巡回展

平成15年11月12日㈭～24日㈯ [11月17日㈰ 休館]

会場／ハーモニーホール座間 (座間市立市民文化会館ギャラリー)



## ごあいさつ



芸術の秋を迎え、今年も意欲あふれる作品を多数ご出品いただき、こうして神奈川県美術展を開催できることを、主催者の一員として心からうれしく思います。

今年で第39回目を迎えるこの美術展は、昭和40年の第1回展開催以来、神奈川にゆかりのある方ならどなたでも出品いただける美術展として、芸術家を志し日々研鑽を積まれている方から、日常生活の中で趣味として創作活動に取り組まれている方まで、多くの方々に作品発表の機会を提供してまいりました。本美術展での入賞を契機として全国規模の美術展で入賞を果たされるなど、活躍の場を広げられた作家も少なくなく、本美術展の実績は高く評価されています。

今回も、1,871点ものご応募をいただいた中から、会場には、厳正な審査を経て選ばれた、いずれ劣らぬ秀作が展示されております。ご来場の皆様には神奈川の芸術水準の高さを改めて認識していただけるものと思います。

さて、近年、一人ひとりが心の豊かさを実感でき、生きがいを持って暮らすことのできる地域社会の実現が強く求められている中で、芸術文化は今後ますます大きな役割を担っていくものと期待されています。県では、県民の皆様とのパートナーシップを大切にしながら、さまざまな芸術文化活動が活発に行われるための環境づくりに取り組んでおり、来年には第40回という節目を迎える本美術展の開催などを通じて、今後もより一層力を注いでまいりたいと考えておりますので、皆様方の温かいお力添えをお願い申し上げます。

最後に、このたびご出品いただきました皆様が創作にかけていらっしゃる熱意に深く敬意を表しますとともに、本美術展の開催にあたり、ご尽力をいただきました関係の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成15年9月9日

神奈川県知事 松沢 成文

## ごあいさつ



昭和40年にスタートした神奈川県美術展は今年で39回を迎えることになりました。これまで若手美術家の登竜門として、また数多くの美術家を輩出してきた県内随一のコンクールとして、ながく本県美術界に貢献してきました。

今回は、平面立体、工芸、書、写真の全4部門に1,022人、1,871点の応募があり、各部門の厳正な審査の結果、482人、510点の作品が選ばれました。

本県は美術活動の盛んな環境を備えており、また近年の生涯学習熱の高まりとも相呼応して毎年出品点数が増えており、選ばれた作品はいずれも高い水準に達しております。

今回応募された皆様の心意気に深く感謝するとともに、これからもこの県美術展に対して熱い眼差しを向けてくださることを祈念します。

なお、この度の展覧会で厳正かつ丁寧な審査にあたられた審査員の皆様と、県美術展の運営に専門的な立場からアドバイスをしていただいた県美術展委員の皆様に厚くお礼申し上げます。

また、時節柄厳しい現況下にありながら、特段のご支援を賜りました財団法人神奈川県美術奨学会様、及び財団法人はまぎん産業文化振興財団様、そのほか関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

2003年9月9日

神奈川県美術展委員会 委員長 上野 豊

I期展  
平面・立体

## 受賞作品目録

### 平面・立体

大賞	井上 達也	平塚市	植勢Ⅱ
準大賞	佐藤 忠	横浜市	Untitled #15～30
特選	堀込 幸枝	調布市	びん
特選	藤本 洋子	横浜市	逆夢
特選	矢部 裕輔	大和市	ゆらり ゆらり
近代美術館賞	小松原朋子	横浜市	流れを埋めつくすもの
美術奨学会賞	河上 由武	相模原市	玉座
はまぎん財団賞	藤井 哲	相模原市	日々の稜線
U氏賞	大矢 夏目	川崎市	ゼブラ

※ 美術奨学会賞は、(財)神奈川県美術奨学会から神奈川県美術展に出品した優秀な作家に給付される奨学金です。

※ はまぎん財団賞は、(財)はまぎん産業文化振興財団から神奈川県美術展に出品した優秀な作家に給付される賞です。

※ U氏賞は、神奈川県美術展委員会の上野委員長から神奈川県美術展に出品された作品の中から独創性に富んだ優秀な作品に対して給付される賞です。

※ 市町名は現住所です。

## 入選作品目録

### 平面

知久 茂雄	黄昏
津村 道子	豊穣
今井李々子	Untitled 2003-1
山本 理絵	青いひまわり
樋口 晃子	現代式日本水浴図
小島 翠	ファミリー 1
繩井かつみ	今日の終り
真木 欣一	夏の日 2
渋田 耕一	木になった馬と風化する人
龍池 敦美	円 2
国方 房子	風化する記憶（I）
中村 啓子	もう一つの時間（II）
茂野 生世	Untitled 1
豊崎 旺子	TRAIL I
石井いつ子	ベイ・エリア（I）
清水 知子	響きあう音
吉田 純子	黄の夢
坂野美津子	想
岸上嘉世子	脱走—I
川北美杏子	深淵 II
猪原 桜水	心の部屋—5—
林 美由紀	月の船
美濃口 裕	薄い月
三好 正人	fable—朦
佐藤 英行	風景 X
安田 文夫	LIVE IN SHONAN
晶	Two Of Us
三田 健志	完全8度
内田 佑子	neighbor
芝田しげる	和のかたち
菅沼 稔	Penetration・8
中山 智介	光の雨
澤田 サチ	仮想の刻（II）
近藤 節夫	赤の領域 2
平林 英一	尖沙咀東（チムサッチャイ イースト）
青木 治子	紫雲の彼方
古道 健治	広場
山崎ヒロミ	僕の一撃

大貫 文詠	水への夢想 I
長岡 一豊	野球少年
西川洋一郎	残照或いはうたかたの…
西山 和子	ひやくまんつぶの涙
三宅 弘子	シューレーディンガーの猫とAINシュタインの犬（II）
浜崎加津枝	予感 I
丸谷 洋子	融合の兆し
山下 浩子	コンクリートの華
折居 恵子	SO・TE・TSU
亀山 治代	景 II
菊池 怜奈	二人の少女の悪意は最後まで消えなかった
新恵美佐子	cosmos
嵐 晴生	凜・毅・万華
田中 信男	二人（B）
足立 静枝	SCENE
加藤 敏夫	蜃気楼
杉浦 弘昭	Landscape 2003.3.20 (犠牲者たちの経譜)
鈴木さよ子	芙蓉の花
石原 光子	月を背に
坂本 雅彦	「今日、結婚式があります」
服部佐紀子	いとなみ
平田 貴士	[The impulse of our imagination II]
北浦 亮子	天乞い
吉池さとみ	work bl/y
堀部 洋平	森の中にて
水村 繁	刻む A
山田 晶子	MENU
久保 敬子	気持ちのいい日
浅倉 寛	痕跡（II）
細川 貴子	秋の通り道
土屋 雅敬	あとかたーけしき・8
滋田 明	熱帯植物園
藤井 忠行	午睡
村杉 哲子	冬の詩
原田大二郎	FLASH
渡邊 善人	記憶の町の地図
岩瀬 哲夫	KAO – 2003 – 2
平田 清隆	無題 I

### 立体

福士 早希	filter:01
渡辺 幸子	過ぎ去りし日Ⅱ、2003
高階由季子	つぎにふれると余韻の香り
臼井 勝宏	有・無
原 良介	そして、そこに花が咲いた
草野れい子	不二
大工 公司	F.W.I., B.P.I
山崎由美子	覚醒
八幡 幸子	両神山早春
渡辺 勇	生命体（海洋生物）
井坂美由紀	ピラルク
岸本 志穂	雨の日
鎌田世津子	黄色の習作（2）
佐藤 潔	降臨
元木 秀信	時間の中の記憶
吉本由加利	安心のぼうしをかぶっていたい
門間 由佳	癒しの抱擁

留守 玲	ジャングル ドライブ
鈴木 桃子	はじまりの景色
佐藤 佳彦	悠然と野を行く
山本 秀明	内壁層－生痕－⑧
古賀 飛	cube light
坂井ヒロミ	ミノル
小笠原 森	DOU－2002.2
小山 祥吾	境界
高須賀昌志	Playing with Letters
豊島さち子	連鎖－やかれしもの
たべ・けんぞう	BEATLE SIDER
生越麻紀子	…かしこみ かしこみ もまをす
辻 真由美	ハジマル

## 平面・立体

いわゆる県展では、余暇の楽しみで絵を描いているアマチュア画家のほのぼのとした作品が多く見られる。それはそれで歓迎すべきことだが、神奈川県の場合は例外であって、きわめて完成度の高い作品が揃っており、しかも野心的な大作が多い。今回はとりわけ水準が上がっていたように思われる。入選に漏れた作品もボーダーライン上に並んでおり、数の制約があるのが残念な気がするほどであった。受賞作品の決定も、絞り込むのに逡巡するようなケースが度々で、票が分かれることが多く、審査は緊張を強いられ通していった。あえて注文を付ければ、現代美術の規範をはずれたような突拍子もない試みや荒削りな魅力をたたえた作品がもっと欲しかったという気もするのだが、まあそれはないものねだりというものだろう。以下、受賞作品について短くコメントしておく。

大賞の井上達也「植勢Ⅱ」は、審査員全員から異論なく選ばれた作品である。立体的なイリュージョンを生み出すテクニックの卓抜さもさることながら、幻想とも現実のオブジェともつかない増殖感覚のあるバイオモーフィックなモチーフの設定が面白い。

準大賞の佐藤忠「Untitled#15~30」は幾何学的な形態のユニットを床に配したものだが、ずんぐりした鉄のマススが、単なるクールな記号ではなく、どこかユーモラスな感触を漂わしているところに、この作者のユニー

クな資質が見られる。

特選の堀込幸枝の「びん」は不思議な雰囲気をもった作品である。反射光とも透過光ともつかない独特の光の描写の中に浮かぶイメージは、私たちの目を魅惑するアンビギュアスな謎であるといつてもよい。

同じく特選の藤本洋子の「逆夢」もまた作品の光のありようが興味深い。複雑なマチエールをもった画面の上方の二つの白い半円は、絵画の内側に宿っている、未だ流動的な空間の明るみを印象づけずにはおかしい。

立体作品の特選の矢部裕輔の「ゆらり ゆらり」は、杉の幹の重量感のあるマスを鉄材によって浮遊させた大力作である。形態がやや単調なところが惜しまれるが、重力と構造という彫刻的な課題に正面から挑んだ意欲は高く評価されて良い。

神奈川県立近代美術館賞の小松原朋子の「流れを埋めつくすもの」はディテールの美しさと抒情の質の深さに魅せられた。美術奨学会賞の河上由武の「玉座」はポップアート的な明快な造形感覚とアレゴリカルな意味性との共存が注目される。はまざん財団賞の藤井哲の「日々の稜線」は大画面の空間をゆるぎなく支える版画ならではの線の強さが記憶に残る。U氏賞の大矢夏目の「ゼブラ」は、大胆な構図の中に装飾的なパターンの効果を生かすことに成功している。

(建畠 哲)



大賞 植勢Ⅱ：井上 達也

略歴

1968：神奈川県に生まれる  
1992：筑波大学芸術専門学群卒業  
1994：// 大学院修士課程芸術研究科修了

個展

2003：様画廊

グループ展

1990：第58回独立展  
1991：4と2分の1展、永谷ギャラリー  
1995：神奈川独立美術展、横浜市民ギャラリー（以後毎年出品）  
燎の会、万国橋ギャラリー（以後毎年出品）  
1998：芽の会、ギャラリー伊勢佐木町  
仲間たち展、ガレリアセルテ（以後毎年出品）  
2000：G展、平塚市美術館（以後毎年出品）



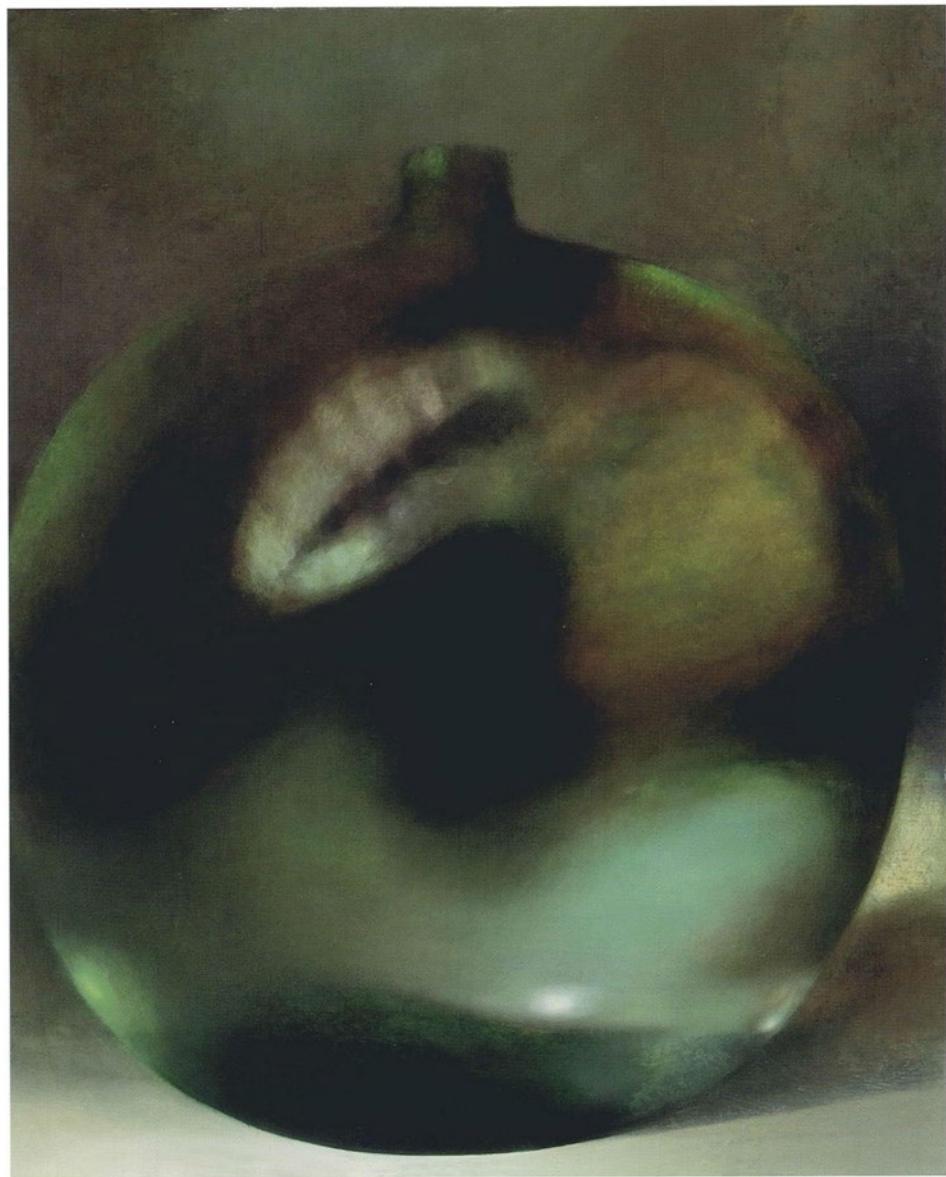
準大賞 Untitled #15~30：佐藤 忠

略歴

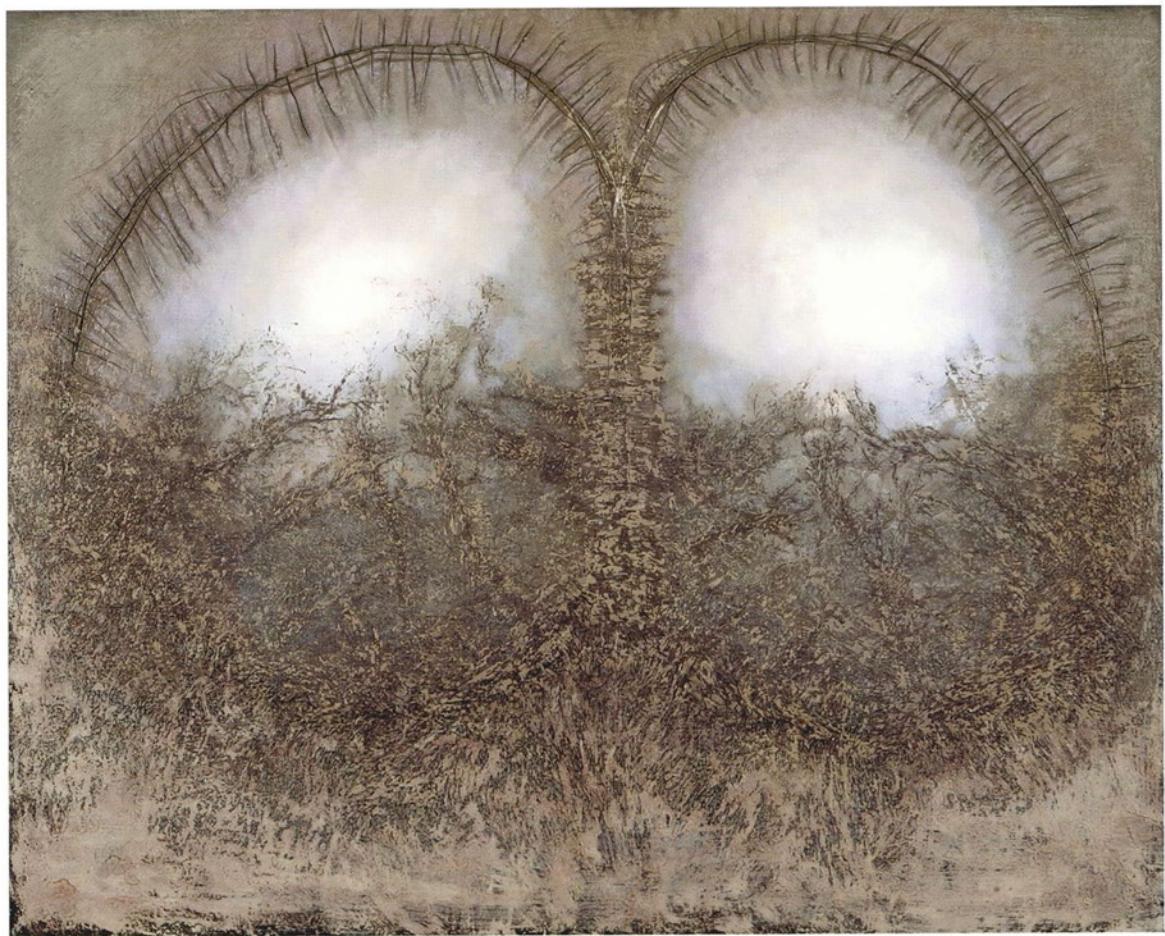
1966：神奈川県に生まれる  
1991：東京芸術大学美術学部工芸科卒業  
1993：東京芸術大学大学院美術研究科鍛金専攻修士課程修了

個展

1997：ギャラリーCoo  
2000：ギャラリーなつか  
2001：ギャラリーなつか  
2003：ギャラリーなつか



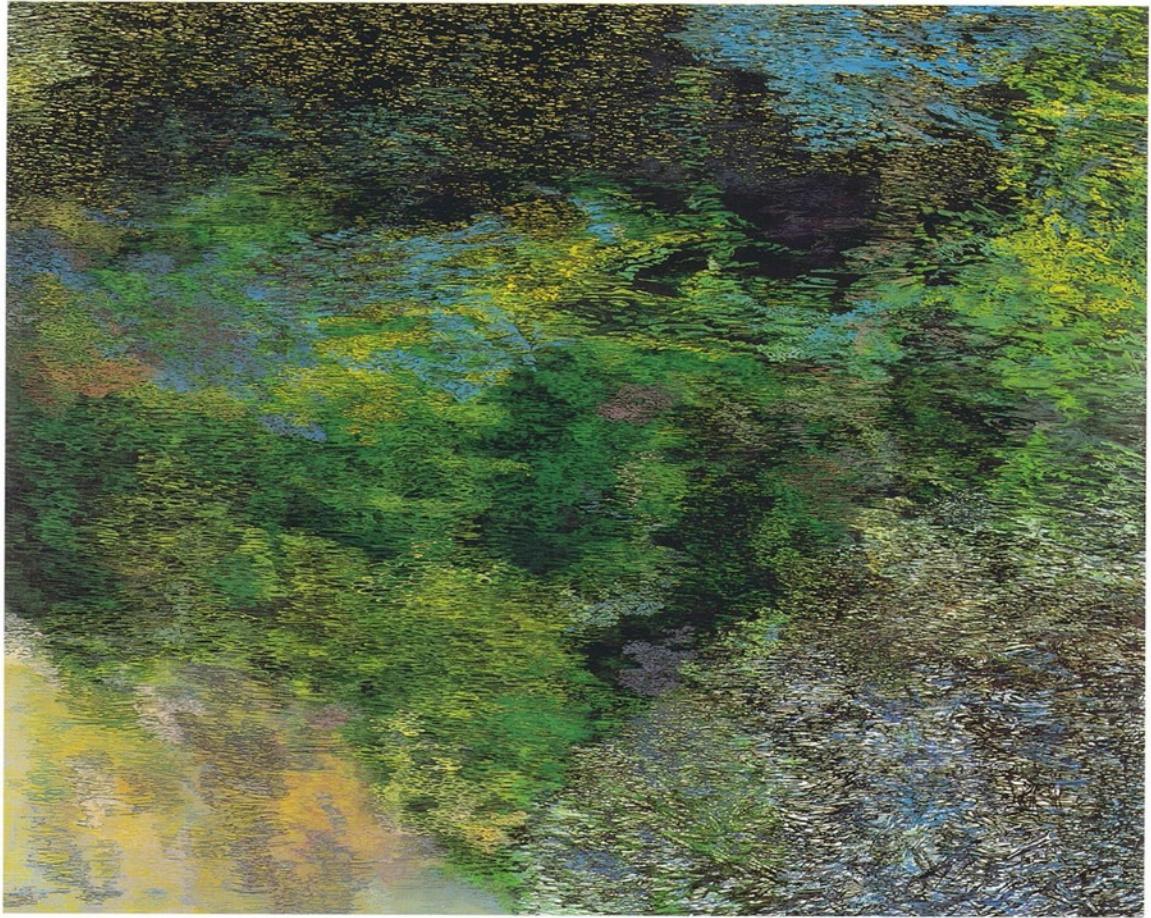
特選 びん：堀込 幸枝



特選 逆夢：藤本 洋子



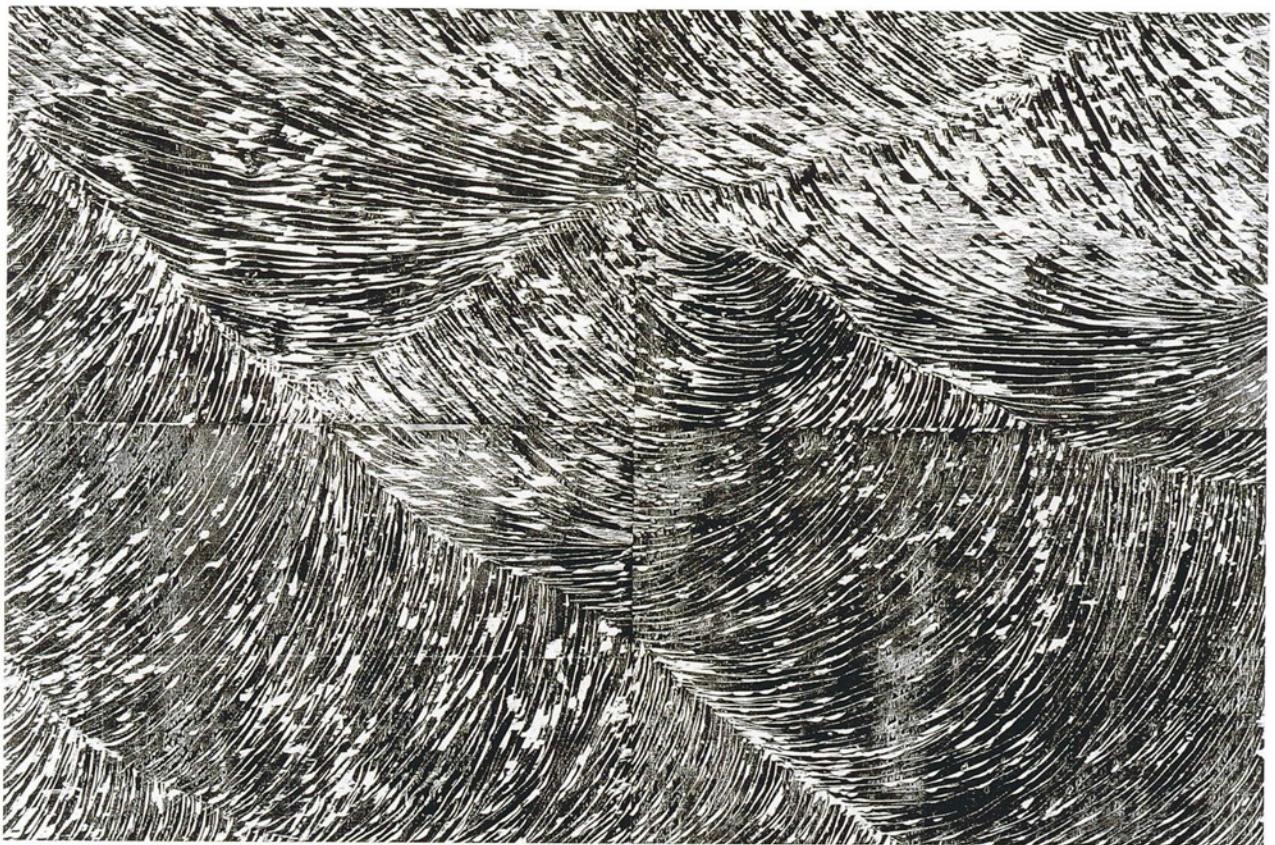
特選 ゆらり ゆらり：矢部 裕輔



近代美術館賞 流れを埋めつくすもの：小松原朋子



美術奨学会賞 玉座：河上 由武



はまぎん財団賞 日々の稜線：藤井 哲



U氏賞 ゼブラ：大矢 夏目

Ⅱ期展  
工芸・書・写真

## 受賞作品目録

### 工芸

大賞	小田中 藍	伊勢原市	「おやすみ」とは言っても…
準大賞	西山美恵子	横浜市	初雪Ⅱ
特選	大南 武子	大和市	DUET
特選	峯尾 直明	横須賀市	白釉螺旋壺
特選	坂本采季香	横浜市	Sunset
特選	小野田圭美	相模原市	ミニアチュール(細密画)
美術奨学会賞	浅野 壽子	座間市	皿 夢猫
美術奨学会賞	岡崎まりこ	横浜市	星座

### 書

大賞	幡野 恵子	横浜市	論語
準大賞	阿部 廣子	横浜市	李白詩
特選	小野田孝子	横浜市	幽洲夜飲
特選	馬場 虹苑	綾瀬市	佐藤渚の詩 コトコトコトコト
特選	八木 静香	相模原市	三好達治の詩 岸千里浜
特選	田端 妙子	横浜市	蘇東坡詩
美術奨学会賞	中里 健哉	横浜市	杜甫詩
美術奨学会賞	横山千津子	海老名市	雲
県議会議長賞	長尾美代子	横浜市	爽涼

### 写真

大賞	金親 敏雄	横浜市	都市幻影(4枚組)
準大賞	堀坂 和夫	横浜市	不透明な時
特選	野村 節弥	大和市	漁港(3枚組)
特選	名田 和世 樋口 陽	横浜市 川崎市	a girl moved her emotion(3枚組)
特選	内藤 秀和	鎌倉市	Colors(5枚組)
特選	中島 倍三	横浜市	天然の輝き(2枚組)
特選	大畑 礼	横浜市	舞う柳と風(3枚組)
特選	宮坂 翔子	横浜市	安全ロープ
美術奨学会賞	安藤 肇	横浜市	飛翔(3枚組)
美術奨学会賞	鹿山 美里	横浜市	私のバカンス

※ 美術奨学会賞は、(財)神奈川県美術奨学会から神奈川県美術展に出品した優秀な作家に給付される奨学金です。  
※ 市町名は現住所です。

## 入選作品目録

### 工芸

石成 富栄	泥彩練上大壺胴に帯
鈴木 亘	練上壺
北垣 幾子	どくだみ
北垣 幾子	源氏池（鎌倉）
糸井惣四郎	縄文譜・白神山熊三耳壺
砂山 憲子	帯・ロートン織（静寂）
今林三恵子	銀製蓋物「投網」
三上 光敏	備前絢櫻広口花器
森 住江	花器（白流）
金子三女子	野草染 山ぶどう
小川 由子	華南夕景
小野里澄人	A Microcosm (小宇宙)
大矢 祐子	かざしの菊
佐々木正孝	緑釉の器
井上 心生	瓢の見栄
木澤 宏子	心模様
戸島知恵美	彩泥蓮花紋長方鉢
伊藤久仁子	無題
西前 力	備前 繡櫻大壺
井上 長久	線紋花器
能勢 恵子	サンクチュアリ
山田 陽子	波ふち組皿
香取 孝彦	花筒「アーク (Arc)」
海上 文夫	やきしめ（陶）「顔のある額」
青井 良子	街
野口 俊子	胡蝶相愛
菅 剛	「悠久」
砂田 紘子	おとことおんな
近野 久子	手割り花器回想
狩野サキエ	きはだⅡ
谷 美恵子	泥彩線抜文鉢
谷 美恵子	泥彩搔落文鉢
赤井 哲男	LHGT-03
古根 香	門－彼方の記憶－
小山 純子	心－想い重ねて
尾形 光俊	「練込角大皿」風紋
西山 義彦	輪花胴紐櫛目鉢
堀口 成依	I Love You

木村 多束	Mother Earth
前沢 秀知	斑釉平鉢
前田 絵理	灼燐
水沼 史絵	夕あかり
西原 清志	平棗「茄子」
兜森 直子	自然釉ランプ “花 繚乱”
山口由姫子	ornament – “black”
吉岡 末子	付けさげ「春のほほえみ」
黒井由紀子	赤絵大皿
元木 光枝	織部水指（流々）
鎌田 知幸	水指
山口 浩二	宙吹二色被モール鉢
中田 文	ひさごハケ目釜「二丸」
松崎 峰夫	紫辰砂釉尺二寸皿
後藤 弘吉	波に飲まれた太陽
池田 節子	大地の音
柳沢 桂子	早光
小柳 和子	鳥籠薰炉
小柳 和子	布目金彩器
原田 克治	萩釉・大山晚霞壺
村主 武	自陶像
久保寺春男	備前「壺」
大野 澄子	小花搔き落とし壺
須藤 義明	信楽扁壺
宮本 尚子	幻暉
松本 裕代	赤い実
西山 武	淡緑色粒状斑文壺
吉田 治	黄瀬戸輪花鉢
伊藤 啓子	手彫硝子花器「グロリオーサ」
伊藤 啓子	手彫硝子大皿「山百合」
花形 澄子	午睡
青木みさ子	彩泥秋葉文壺
植草 悅子	舞（ランプ・シェイド）
稻葉里き江	集う
稻葉里き江	風景V
柴田 千晶	夜キャベツ
梅田 千晶	透かし重ね漆革器
高橋 英昭	雨の角皿・雪の角皿

市岡 真治	無限遠にて嗅ぐアルコール～肺魚、スープ、ネオンサイン
高橋 征子	弥生花文
坂井 勝也	樹海一晚秋
鈴木 隆	青瓷鉢
山田 欽也	布目菖蒲文扁壺
寺本沙香江	青蒼鼓動
夏井美智子	布目黒釉白流掛長方皿
夏井美智子	緑釉四方組皿
小林 正光	Last Twin
加藤 雅章	黄瀬戸額紫陽花文大皿
赤坂 裕子	鉄釉掛分深鉢
大原 乾資	インド綿、板締染
木下 篤子	魚文
水橋さおり	群
水戸 愛	櫛目窯変花器
猪本 淳子	備前・壺
鹿山 靖子	ほおずきの灯(竹)
石澤 和幸	雪渓
大丸 洋子	湖底への誘い
大槻 洋介	孔
古川 元吾	碧の起源
上田真由美	幻響
石井 雅之	備前耳付花器
遠藤 寿子	TIME FLOWS
桜井 健一	藁灰釉窯変組み鉢(4枚1組)

## 書

吉村武次郎	泊雲陽江頭玩月
中町 紀子	秋興八首
池田千鶴子	送崔融
石坂 和子	次北固山下
中村 雅枝	從軍行(楊炯)
川上 敬洋	杜甫詩述懷
青野 有美	新古今二首
浅見 智子	湧く水
石井恵美子	山茶花のはな
大場 得法	行經華陰
金澤美奈子	浮草
加藤茉美子	雨そぞぐ
金井由利子	秋の日の
岡本 怜子	夏山
桟敷 東煌	秋歌七首
中村 房子	臨小島切
吉成美智子	臨香紙切
内藤 優子	夕焼け
金澤 照子	桜花
弦間 艶子	和歌二首
田中 秋子	源実朝の歌
萩原喜久子	新古今集より二首
井上 澄江	古今和歌集より
上永 弘子	古今和歌集より
吉田智世江	山家集より
佐藤 青香	和泉式部集より
田辺真知子	古今和歌集より
伊藤 由紀	古今和歌集より
筒井 節子	山家集より
関口 敦子	新古今和歌集より
片山 君江	白居易詩
黒川 和子	謝靈運詩
宮崎嘉代子	杜甫詩
山本 佐知	家兄信宿焦山有寄
堤 耕一	梧竹書話(隸書)
小山 徳	蘇軾の詩
池上 澄子	秋の歌
鈴木 良子	天のはら

山下 澄子	晶子の歌
浅間 静江	かな萬葉歌二首
矢島 初江	秋の
安藤 憲子	かな
戸上久美子	吉野秀雄詩二首 岬なる波の
西川喜代子	旅
渡辺美佐子	久方の光
小島ミツエ	百人一首抄
小林 峯	はちす葉
大江喜幸江	おくのほそ道
宮川 勝美	陸游の詩
山口 裕美	良郷道中
杉山 絵美	宿闇先寺
山口 詠美	野望
松永 耕作	百人一首より
井東 陽子	夕の海
鈴木かおる	乾坤
鈴木 昭和	祥光
越智 伸子	路傍老人
菅原 博	仏説阿弥陀経（一節）
榎本テルヨ	孟浩然詩 臨洞庭
麻生富美代	和歌一首
木多 良子	梅の花
明石 純子	立田川の紅葉のうた二首
川名 猛夫	靈機
登坂 巍	推背図
四季 茜歩	楚辞の一節
今村 健一	衛風・竹竿
道脇 辰雄	陵游詩
矢口 良子	雨後出渓上
中村すみ恵	崔二丈園亭
北村 良子	春江
賛 ふさ子	秋興
森 泰明	返照
新井 陸郎	吳偉業詩 自信
小林 ヒロ	雑詩
日吉 洋子	漢文五言律詩
新 園子	李夢陽詩

高橋富美子	王漁洋詩
長野 文子	杜甫詩
藤野 静子	夏完淳詩
浅岡 昌敬	方朝詩
濱野 裕美	雲游
土屋 郁英	渋沢孝輔詩 燐糸島
青野 直子	中村真一郎詩 夜
山本 清子	西田富美代のうた
青木 正義	小林あやの歌
森田にいな	三宅惟子の歌
中山 政子	土肥俊子の歌
堤 智子	藤村聰子歌
平出 節子	藤村聰子歌
宮地 晶子	花村雪夫の詩 如月
松田 紀子	三宅惟子の歌
大木 明子	未完の美の美
指旗 登美	城ヶ島の雨
井上 綾子	翼
伊奈 未紗	敲の詩 春のこいうた
上野 春海	坂村真民の詩 風
福本 泰子	草間真一の詩 旅
三谷 和子	中島みゆき 地上の星
相馬伊佐子	尾崎喜八の詩 槍沢の朝
志賀 晴美	夏の夜の月
和田 澄子	杜審言詩
鈴木 文子	李白詩
池田佳代子	杜審言詩
松尾 広子	杜甫詩
菊島 豊子	李甘詩
東山 勉	杜牧詩
菱田 恵子	李白詩
杉浦 町子	白居易詩
井澤 洋子	奉和賈至舍人早朝大明宮
中村 咲子	本阿弥切
杉野 光子	大空は
河又世津子	あたたかき
大泉 桂子	新古今集より
村瀬三枝子	風が鳴る

塩沢 郁子	つくよみの
片山 裕子	山里
成田 良子	乱れ咲く
大泉 菊江	目の前に
柴田 房枝	屈大均詩
成田 敏子	もみぢば
下門 芳子	虚無の鳴
市川 悅子	良寛の詩
門倉 裕子	渡揚子江(漢詩)
川神 寛子	ほととぎす
水田 友理	ふるさとの
内田 洋子	おのづから
米澤千恵子	風が吹くと
佐々 敦子	藍田山石門精舎
板越 辰美	陶詩飲酒十首其七
小原 昌子	劉崧詩
三國喜美代	李羣玉詩
中村 起世	彭茗齋詩
井上利枝子	惲壽平詩 月夜從愚庵大師陳際叔徐世臣湖干閒歩
西澤 豪	劉大卿詩 南還道中
野頭喜一郎	早発錢塘
小山カヨ子	錢塘雨泊
鈴木 宏次	晚菊
渋谷セツエ	王維詩 山居秋暝
神藤 松代	漢詩
鈴木千恵子	山居
添田 勝子	夏日閒居
阿部 洋子	野苺
小林 まき	李頤詩
浅見 稔子	宋之問詩 和姚給事寓直之作
天野 悅子	葉顥詩
室橋 幸子	何景明詩 贈王文
泉 心	晶子の歌

## 写真

石渡 延次	棚倉の居籠祭(3枚組)
山口 昌明	黄昏
文野 克成	釣針がはずれない
渡辺 富司	海辺で遊ぶ
市川 洋子	ステンドグラスⅡ
中島 政治	水かけ祭
稻葉 幸恵	穏かな午下がり
杉田 介伊	朝露
奥田 恭子	待ちくたびれた
市川 正	ある晴れた日
小木曾千恵子	朝光
梶川 利行	終焉
佐野 雅子	華紋(3枚組)
林 美江子	エキサイティングホーリー祭
落合 知子	雪の造形
長澤 治代	朝霧流れる
西沢一比古	追想
北原 實	原生林
安藤那智子	網繕い(3枚組)
田邊 万里	木陰のオブジェ
大友 洋子	夕照
吉田 陽子	トアレグ族
三浦 京子	帰路
深沢 博	新緑に萌える木
米山 悅朗	水汲み
砂金 賢司	焼岳に沈むオリオン座のセレナーデ
榎原 俊寿	威厳
松本 康男	ともすれば忘れ去ってしまうような自然(3枚組)
占部 和代	琥珀
佐藤 正美	新春
古澤 直代	コマーシャル レッド
市川 紗	早く一杯
酒井 昭夫	祭の街角(3枚組)
斎藤ふさ子	現代の世相
柴田 恒司	群蝶
山本潤一郎	開発の波「船だまり」(3枚組)
中嶋 直子	開花
高梨 文夫	カントリーミュージックシティ「テネシー州ナッシュビル」

清野 義雄	祭りっ娘
武藤 安弘	雪のあした
今野 良一	漁婦
佐藤 忠	水玉模様
内藤 富光	吾妻小富士春景
山下 茂治	初夏に咲く I
新野 恵司	窓辺のファンタジー
伊藤 忠	もうすぐ春
太田 淳	仮面 C
青木 ユリ	光のリボン
松本 雪夫	大道芸 (3枚組)
有賀 由一	霧中に立つ
河村 伴江	木靈
三崎 陽久	なめし革のあるエントランス
大森 知子	家族の休日
高山由美子	みこし
斎藤 薫治	一番風呂
根岸 邦江	寺の一隅に
伊東 康廣	京都秋彩 (5枚組)
神田 誠	青春の渚
櫻木 順子	望郷 (3枚組)
南雲 洋一	ライブ
保田 繁子	冬の日
鈴木由紀子	ランダム
島野 悅子	雅 (2枚組)
金子 直人	暁の岩門
大野曠太郎	聖域 (3枚組)
福田 幸子	女瞳私 (風情)
白崎 裕彦	黎明の北穂
栗栖佐保子	瞬桜
中山 亨	彩雲
笹尾 敏子	炎の習 (3枚組)
羽鳥 博隆	転生
鈴木 秀一	ポピーの花とつぼみ
松田 博明	雪舞台
福谷 敏明	光のアート
石川 清	道化師
加々宮郁江	フェイス (3枚組)

福居 寛美	若い季節 (3枚組)
三谷 享	五月晴れのデフォルマシヨン
古塙 政由	まどろむ
高木太三郎	朝の出会い
鈴木 康代	路地裏通り
庄司雄一郎	霧景
中谷 友良	富士幽玄
松本 勝治	黄金色に染まる富士山
小澤 幸	オブジェ
志田 主計	磯に咲く花
竹ノ内多恵子	たそがれどき
馬場 純子	家路
神野 愛子	目
吉田 公子	街景
小林 佻	アートな生活
水田 輝生	夕陽立つ
内田 享克	ペア
桐畠 政義	渋谷の時間 (5枚組)
広瀬 隆義	香雪
長谷川武雄	金色の舞 (3枚組)
高野二三子	瞳
乾 ゆりゑ	哀愁
森屋 泰光	かどで
高木満喜子	水蓮
秋本 富男	立石暮色
臼井 孝	57年目の戦友会 (3枚組)
神楽 千砂	LK (2枚組)
上田 和彦	Interior (3枚組)
北村 勝己	感動のゆうひ

### 工芸

工芸部門の出品数は232点で、前回をやや上回った。入選数は109点で、入選率はほとんど変わっていない。

全体の印象として、飛び抜けたものはないが、個々の作品のレベルは前回より高いものがあり、粒ぞろいという感じがした。ただ着物やガラスなどは、残念ながら前回よりも作品の質が下回っていたのが目に付いた。

また陶芸作品は、数が多い割には新しい意欲に欠け、あまり高い賞を得たものがなかった。

大賞の小田中藍「おやすみ」とは言っても……」は、いかにも手馴れたベテランの味である。そしてこれまでの作品と比べても一定の進境を見せているところから、大賞受賞となった。今後もより高度な染という素材・技法と図様の統合が求められる。

準大賞の西山美恵子「初雪Ⅱ」もやはり同じことが言える。模様を一部、鏡、白場として省略したことが、くどさを回避するのに役立っているが、それが逃げにならないよう努めねばならない。それには全体の矩形の必然性が改めて問い合わせねばならないだろう。

特選の大南武子「DUET」もやはり手馴れた作品のもつマンネリと裏腹である。人形は顔の表情が命である。その点からの洗い直しが今後の鍵である。

同じく峯尾直明「白釉螺旋壺」、坂本采季香「Sunset」は、それぞれ素材・技法の特質を生かした制作を見せている。それなりの進境は評価できるが、それがもっと力強く噴出しないと、土・陶・革・染を用いていることの利点が本領を発揮し得ない。

「壺」はもっと轆轤による土の立ち上げのパワーを、「Sunset」は、例えば前回作(第38回展)「2001—明日へ」のような革を捻じ込める力と革自体の戻ろうとする力の拮抗から来る緊張感のようなパワーを、それぞれ考えるべきである。

同じく小野田圭美「ミニアチュール(細密画)」はなかなかに魅力的な作品である。何か立ち去りがたいものを覚えてしまう。しかしそれもただ本の再現的なレベルに止まっていてはここまでである。本というものなのにかもっと象徴的な意味が求められる。

美術奨学会賞の浅野壽子「皿 夢猫」、岡崎まりこ「星座」は、ぞぞ洒落たモダンな世界を表している。これ

から表現というものをより掘り下げていって欲しい。

他に木工、ガラスなど様々な素材による作品が展示されるが、これからも素材と技術の特性を生かしたもっともっとパワフルな作品がたくさん出てくることを期待したい。

(金子賢治)

### 書

第39回神奈川県美術展の「書」の部には、248点の応募があった。前年比13点の増加で、各地の書展が押しながら減少している状況のなかでは、それなりに評価しなければならないであろう。しかし他の県展の書に比して著しく少ないので、書道王国の神奈川県として反省すべき点も少なくない。その要因は、過去の審査がともすれば独断専行に陥り、県民の信頼性を大きく損ねたことがあるのではないかと思われる。

近年その反省から外部審査員を招聘するなど改善につとめているが、なおその比率(今回は内部6、外部1)や、外部審査員の位置づけの明確化など、多くの課題を残していることを指摘しておきたい。これが解決されれば、他の県展並みに1000点規模の応募をみることも不可能ではないであろう。

さて今回の審査は丹羽蒼処氏を審査員長に互選し、各自1点から5点までの点数カードを使用して、第一次の鑑別を行った。入選数の基準値は150点であった。その結果、18票以上を得た作品が150点、それに前回入賞の無鑑査作品6点を加えて156点となり、入選数の基準値に見合うことになった。しかしながら慎重を期して1票差の作品を再検討し、入選数を最終的に決定した。

次に入賞作品については、21票以上を得た56点に無鑑査作品6点を加えた62点を対象とし、これを合議によって12点まで絞込んだ。そしてこれに各審査員の持ち点5票を投じて、得票順に大賞1、準大賞1、特選4、美術奨学会賞2、県議会議長賞1の9点を決定した。

大賞の栄冠を得た幡野恵子さんは、論語を素材に漢字書に散布を導入するという大胆な試みで、ユニークな造形性が評価された。準大賞の阿部右廣(廣子)さんは、「李白詩」によって楷書と隸書の混淆した個性的な書体を長条幅に展開した。

特選の小野田倩泉（孝子）さんの「幽洲夜飲」は、長条幅に縦3行の清冽なタッチの書であった。同じく特選の馬場虹苑さんは、佐藤渚詩「コトコトコトコト」を素材にリズム感よく表現した。同じく八木静香さんの三好達治詩「艸千里浜」は、阿蘇山の風景をイメージするように親しみやすい現代文の書を展開した。同じく田端蒼秀（妙子）さんの「蘇東坡詩」は、横形式に20行を書く多字の作で充実感にあふれていた。

美術奨学会賞の中里健哉さんの「杜甫詩」も横形式の多字作で、伝統のよさの生かされた書であった。同じく横山翠扇（千津子）さんの「雲」は、長条幅に縦3行の大字かなで、連綿のひびきの美しい作である。

県議会議長賞の長尾雪永（美代子）さんの「爽涼」は、潤筆から渴筆への変化を構成によく生かした。

以上短評となってしまったが、神奈川県展が審査の信頼性を高めて県民に一層親しまれ、発展するよう祈るものである。

（田宮文平）

## 写真

応募作品全体を通じていえることは、単写真が見劣りして、1枚に凝結する映像インパクトのエネルギーがひよわだったことがあげられる。さらに組写真においても適確な必然の連なりによって構成する「見せ方」に難点がある作品が多く、目のつけどころは良くても、テーマに対する把握力が弱く、いま一つ推しきれない作品も2,3にとどまらなかった。

広くさまざまジャンルの写真が寄せられ、いま現代写真が向き合っている一般状況の中での応募という姿たちはよくうかがえたが、総じて現状維持の安定型の写真が多く、少しぐらい破綻があっても主題を強烈にぶつけてくるような意欲作にとぼしかったのではなかつたか。

そんな中で、大賞を射止めた金親敏雄氏の「都市幻影」は、現代都市への危機意識を基底にはらみ、現実の都市の相貌は、あるいは一種の幻影の中に浮き上がった虚構であって、一歩まちがえば手負い獅子のような大自然からの天災の報復に消滅していくかもしれないという、劇的なサスペンスを予感させる訴求力ゆたかな力作であろう。

デジタル加工でパソコンによる合成出力という4枚組

だが、しっかりと正方形に組み込まれ、その構成力量によって新しい方向を示唆するイメージ写真として立ち上がっていた。何かはっきりわからない異様なもの投影を都市映像の上から塗りつぶすように刻印し、大津波、大地震、9・11同時テロを連想させるビル倒壊、土石流の狂奔を強烈に暗示させているのだ。発想、構成ともに抜群の異色作といえるだろう。

準大賞の堀坂和夫氏の「不透明な時」は陸上自衛隊の戦車の発射訓練光景だが、一見して、どこかの花火大会かと錯覚させる。その平和なイメージを逆転させる衝撃が、イラク戦後への自衛隊派兵への動きを浮かび上がらせ、「不透明」な時代意識を見る側にはっきりと伝える。

特選の6作品は、いずれも個性的な表現がすっきり出ていて好感がもてた。

2枚組みの中島倍三氏「天然の輝き」は、不思議な妖光を放つ玉虫の天賦の色彩の輝きをクローズアップでなんのケレン味もなく真正面に見据えて力強い表現になった。内藤秀和氏「COLORS」は5枚組の花写真で、あわい微妙な光の中に花の短いのちのかがやきをとらえ、見事な調和性で描き出した。野村節弥氏の「漁港」は3枚組で汚染に悩む漁港の現状を力強い映像効果でシンボリックな手法において立ち上がらせていた。大畠礼氏の「舞う柳と風」の3枚組は、いかにも古風な写真だが、柳を素材にして風の存在感をリアルに描いた表現力量が注目された。名田和世・樋口陽氏の「a girl moved her emotion」は3枚組で、自己陶酔とも嫌悪ともつかぬ少女のうつろいやすい多感な情感をあわく描いて余情がある。若い作者の共感性が支えたか。単写真の宮坂羚子氏の「安全ロープ」は、ひろがる宅地造成の限界をすばり示唆する一作。一見、岩登りの練習かと見間違うが、土砂崩れ防止の網掛け工事なのだ。

美術奨学会賞の鹿山美里氏の「私のバカンス」は、おそらくセルフポートレートであろう。大胆に太腿を投げ出した寝姿を後方からショットしただけの写真だが。奔放なアクションに現代性があり、従来の写真の規範を飛び出していくエネルギーを感じさせる。安藤肇氏の「飛翔」は、ゆきとどいた生態観察の成熟したカメラアイで飛翔の瞬間を鋭くとらえている。構成も格調高い。

（岡井耀毅）



大賞 「おやすみ」とは言っても…：小田中 藍

略歴

1976：伊勢原市に生まれる  
1997：大妻女子大学短期大学部生活学科卒業  
1999：大塚学院工芸染織科卒業  
2000：大塚学院工芸染織研究科修了

グループ展

1999：第38回日本現代工芸美術展  
第35回神奈川県美術展 特選  
2000：第36回神奈川県美術展  
2001：鈴乃屋本店きもの美術館  
日本現代工芸美術展横浜巡回展（～03）  
第37回神奈川県美術展 特選  
2002：第38回神奈川県美術展  
第34回日展  
2003：第42回日本現代工芸美術展 現代工芸新人賞



準大賞 初雪Ⅱ：西山美恵子

グループ展

第21回神奈川県美術展 美術奨学会賞  
第8回神奈川七宝展 神奈川県知事賞  
第29回日本現代工芸美術展（以後12回入選）

第39回日本現代工芸美術展 2000年記念賞

第29回日展（31回、33回出品）



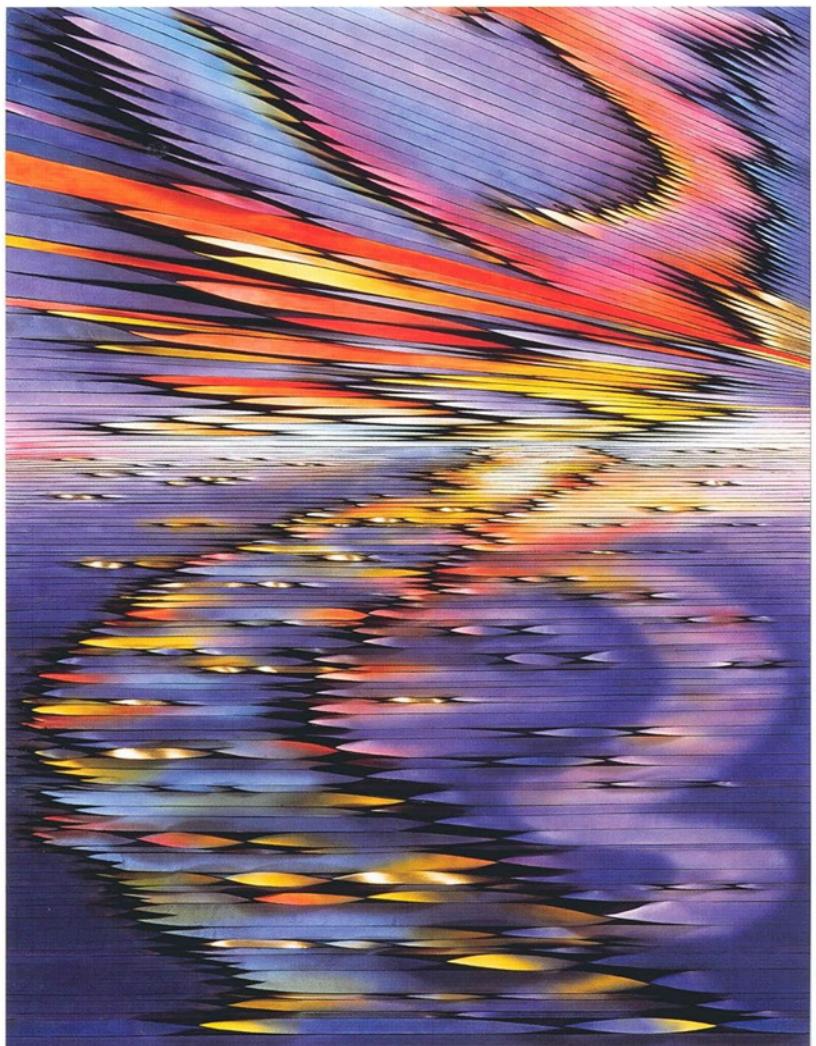
特選

DUET：大南 武子



特選

白釉螺旋壺：峯尾 直明



特選

Sunset : 坂本采季香



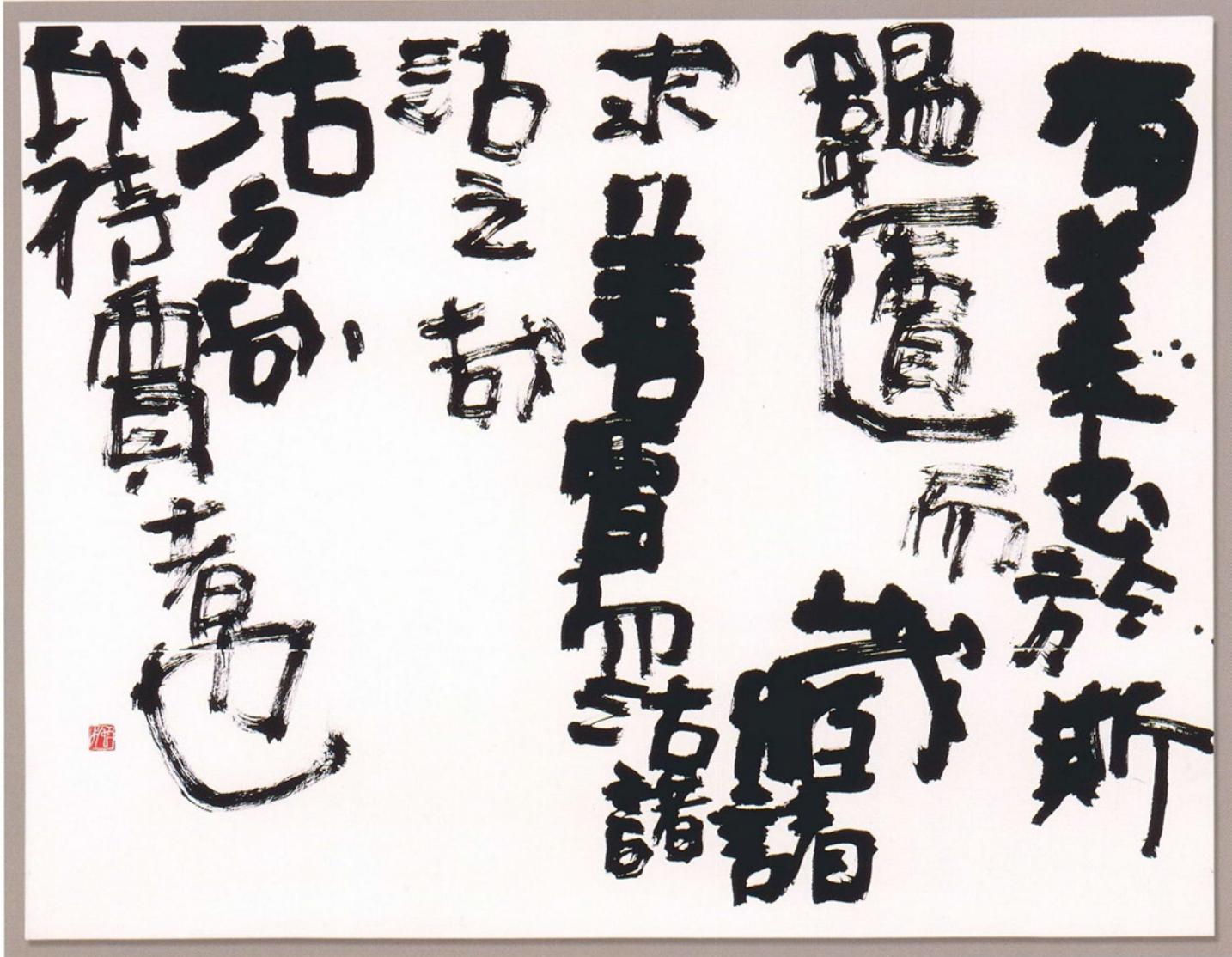
特選 ミニアチュール(細密画) : 小野田圭美



美術奨学会賞  
星座：岡崎まりこ



美術奨学会賞 四 夢猫：浅野 壽子



大賞 論語：幡野 恵子

略歴

1957：横浜市に生まれる  
横浜国立大学書道科卒業  
現日会同人、凌雲社同人

幽州胡馬客 緑眼虎皮冠  
笠拂雨簷前 萬人不可干  
鸞馬若 轉月白  
鳴落雲山端 雜草掉  
鞭行越獵向樓蘭 出門不顧後報國  
死何能 天驕五單于 狼戾好凶殘  
牛馬散北海 割鮮若虎餐  
雖居燕支山 不道朔雪寒  
婦女馬上笑 顏如真玉盤  
翻飛射鳥獸 花月醉誰方  
曉四光華 李白詩

右廣子書

準大賞 李白詩：阿部 廣子

略歴

1949：新潟県に生まれる

仙場右羊に師事

(社)日本総合書芸院評議員、毎日書道  
展会友、神奈川書家クラブ会員

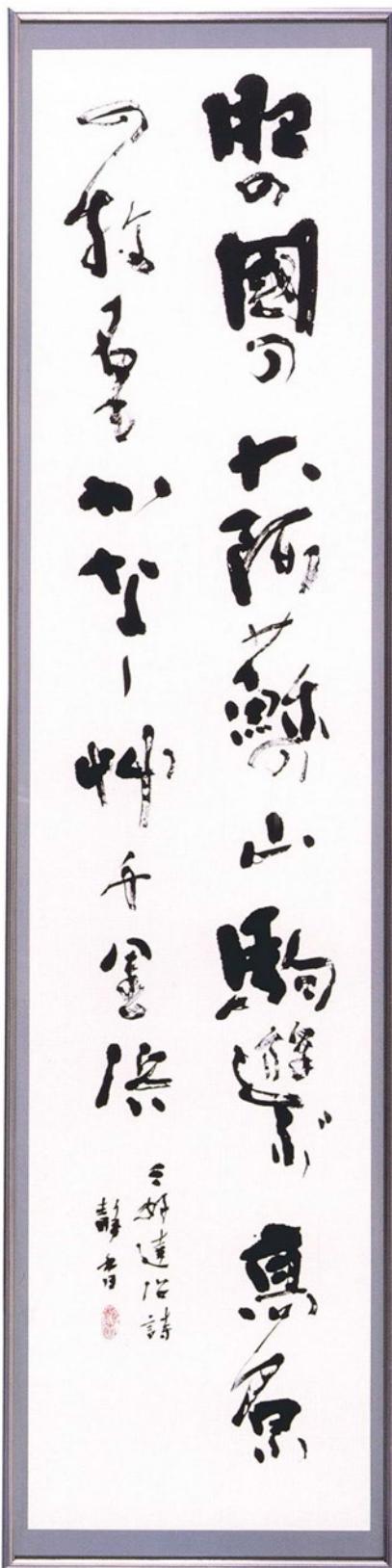
涼風吹散西蘋瑟  
勒寒林山色有空寒  
能忘逐流光  
今年仲夏劍蘚寒  
空氣化雲烟  
將詠西湖風  
幽洲夜飲

佐野田孝子

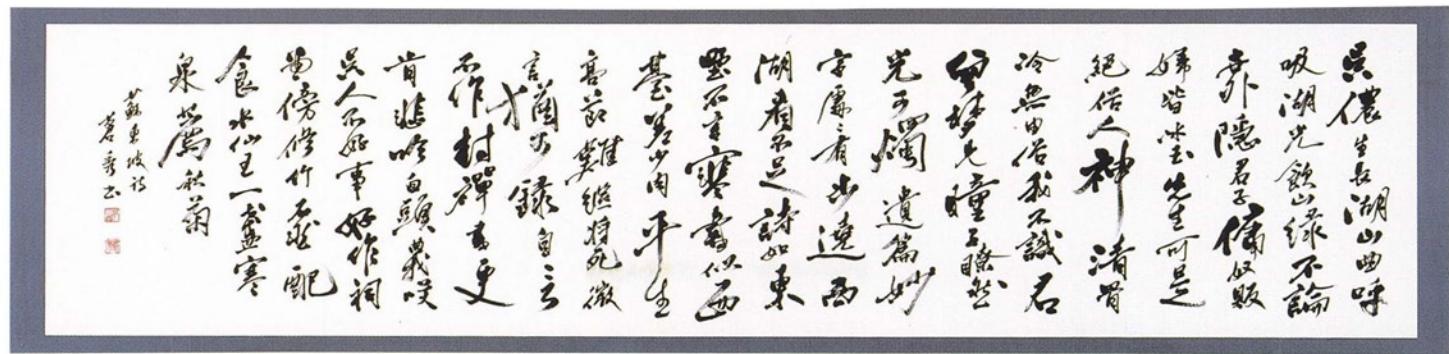
コトコトコトコト  
佐藤清江  
馬場 虹苑

特選 佐藤清江の詩 コトコトコトコト：馬場 虹苑

特選 幽洲夜飲：小野田孝子



特選  
三好達治の詩 岸千里浜：八木 静香



特選 蘇東坡詩：田端 妙子

蜀都多鶯歌  
晴窗夏都看  
御衣還未急  
高秋乃吾儕  
在處管絃絲  
流連頤盡道  
玉宇銀河見  
作鄉念舊山  
南歸鳥在舊  
波揚空谷迴  
望帝空雲薄  
翠微含清曉  
星移物候遷  
風雨驚鴻渡  
萬象變鴻濛  
平林散鶯聲  
星移物候遷  
風雨驚鴻渡  
萬象變鴻濛  
平林散鶯聲

中里 健哉

美術獎学会賞 杜甫詩：中里 健哉

蜀都多鶯歌  
晴窗夏都看  
御衣還未急  
高秋乃吾儕  
在處管絃絲  
流連頤盡道  
玉宇銀河見  
作鄉念舊山  
南歸鳥在舊  
波揚空谷迴  
望帝空雲薄  
翠微含清曉  
星移物候遷  
風雨驚鴻渡  
萬象變鴻濛  
平林散鶯聲  
星移物候遷  
風雨驚鴻渡  
萬象變鴻濛  
平林散鶯聲

美術獎学会賞  
雲：横山千津子

蜀都多鶯歌  
晴窗夏都看  
御衣還未急  
高秋乃吾儕  
在處管絃絲  
流連頤盡道  
玉宇銀河見  
作鄉念舊山  
南歸鳥在舊  
波揚空谷迴  
望帝空雲薄  
翠微含清曉  
星移物候遷  
風雨驚鴻渡  
萬象變鴻濛  
平林散鶯聲  
星移物候遷  
風雨驚鴻渡  
萬象變鴻濛  
平林散鶯聲

県議会議長賞  
爽涼：長尾美代子



**大賞** 都市幻影(4枚組)：金親 敏雄

略歴

1940：神奈川県川崎市に生まれる  
1970：横浜成人学校で写真を学び始める  
1972：ハマ展 市長賞  
1973：ハマ展 教育委員会賞  
1999：神報連公募展準大賞  
　　ハマ展 協会準大賞  
横浜美術協会会員、神奈川報道連盟会員



準大賞 不透明な時：堀坂 和夫

略歴

1934: 横浜市に生まれる  
1979: 第14回神奈川県美術展 美術奨学会賞  
1981: 第32回神奈川県勤労者美術展 横浜市長賞  
1983: 第34回 // 神奈川県知事賞  
第18回神奈川県美術展 美術奨学会賞  
1986: 第37回神奈川県勤労者美術展 労働大臣賞  
1989: 第24回神奈川県美術展 特別奨励賞  
2001: 第37回 // 特選

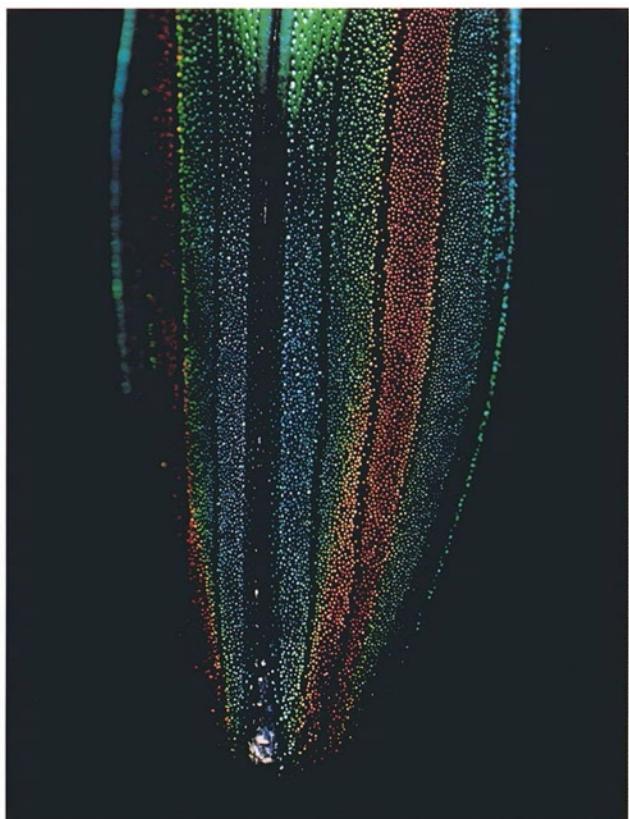
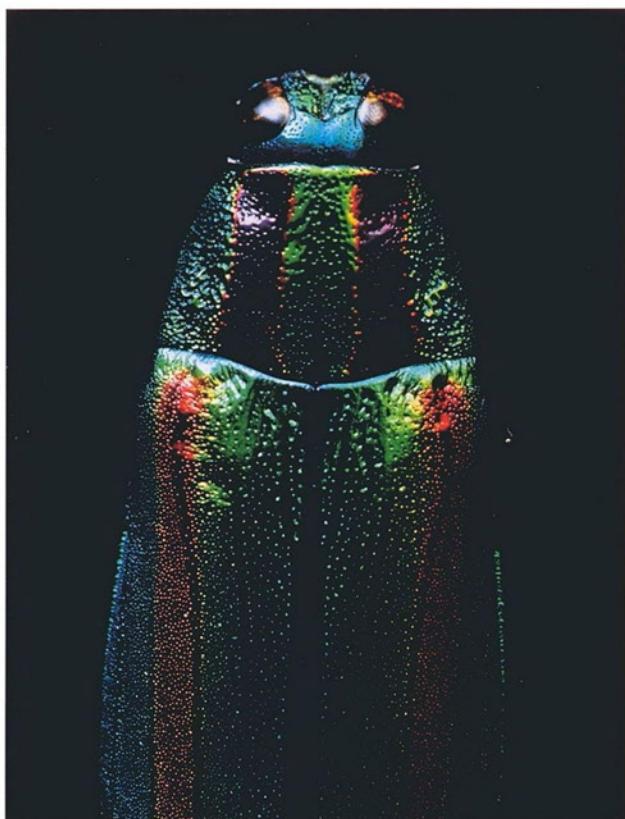


特選 漁港(3枚組)：野村 節弥

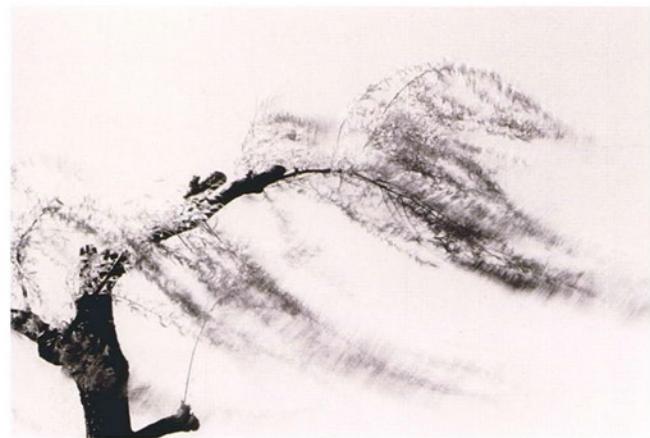
特選 a girl moved her emotion(3枚組)：名田 和世・樋口 陽



特選 Colors (5枚組)：内藤 秀和



特選 天然の輝き(2枚組)：中島 倍三



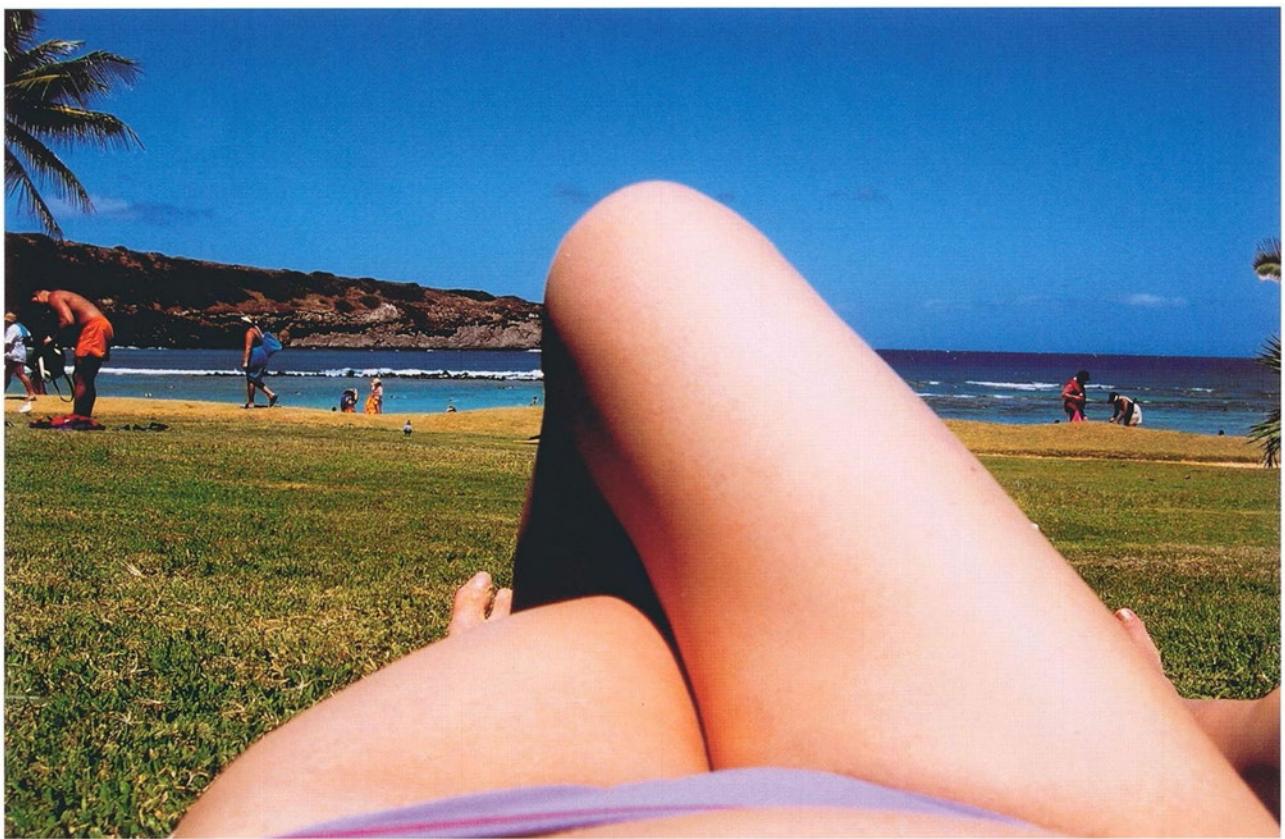
特選 舞う柳と風(3枚組)：大畠 礼



特選  
安全ロープ：宮坂 翁子



美術奨学会賞 飛翔(3枚組)：安藤 肇



美術奨学会賞 私のバカンス：鹿山 美里

## 市長村別出品者一覧

	平面	立体	工芸	書	写真	合計
横浜市	108	10	81	104	169	472
川崎市	24	1	14	22	18	79
横須賀市	14	1	11	20	15	61
藤沢市	12	2	7	12	13	46
茅ヶ崎市	8		4	7	2	21
平塚市	10		4	10	6	30
鎌倉市	22		13	15	9	59
逗子市	5	2	3	4	2	16
三浦市					4	4
相模原市	21	5	9	17	6	58
厚木市	4	1	3	3	4	15
大和市	5	1	3	2	5	16
伊勢原市	1	1	2	2	3	9
秦野市	2		4	2	1	9
座間市	6		5	2	5	18
海老名市	2		1	3	5	11
綾瀬市	1			1	3	5
小田原市	4		7	6	2	19
南足柄市				1		1
葉山町	2		1		2	5
寒川町	1		3	1		5
大磯町	1			4	2	7
二宮町	1	1	1	1	2	6
中井町						
大井町	1		1			2
松田町						
山北町						
開成町			1			1
真鶴町						
湯河原町	1		1	2	1	5
愛川町	1		1			2
城山町			2			2
津久井町						
相模湖町						
藤野町		1				1
清川村						
県内計	257	26	182	241	279	985
東京都	15	2	3	7	3	30
その他道府	3	2	2	0	0	7
県外計	18	4	5	7	3	37
合計	275	30	187	248	282	1022

## 市長村別入選者一覧

	平面	立体	工芸	書	写真	合計
横浜市	40	4	37	73	74	228
川崎市	11			9	12	38
横須賀市	6			6	9	26
藤沢市	3	2		2	8	21
茅ヶ崎市	3			2	5	11
平塚市	4			2	5	12
鎌倉市	7			8	7	28
逗子市	1	1		2	2	6
三浦市					1	1
相模原市	8	4		6	10	30
厚木市	2			2	2	7
大和市	2	1		1	1	7
伊勢原市	1			1	1	3
秦野市	1			2	2	6
座間市	1			1	2	6
海老名市	1			1	2	6
綾瀬市					1	3
小田原市	1			5	3	9
南足柄市					1	1
葉山町	1				2	3
寒川町					1	1
大磯町			1		2	3
二宮町				1	1	3
中井町						
大井町					1	1
松田町						
山北町						
開成町			1			
真鶴町						
湯河原町					1	1
愛川町					1	1
城山町		2				1
津久井町						
相模湖町						
藤野町		1				
清川村						
県内計	94	12	92	150	116	464
東京都	4	2	2	6	0	14
その他道府	1	2	1	0	0	4
県外計	5	4	3	6	0	18
合計	99	16	95	156	116	482

## 出品点数一覧表

	平面	立体	小計	工芸	書	写真	小計	合計
人数	275人 (99)	30人 (16)	305人 (115)	187人 (103)	248人 (156)	282人 (116)	716人 (366)	1022人 (482)
点数	458点 (99)	34点 (16)	492点 (115)	232点 (109)	248点 (156)	899点 (144)	1379点 (395)	1871点 (510)

※( )内は入選者数と入選点数

## 大賞受賞者

第1回 昭和40年度 大森 運夫『九十九里』日本画	第24回 63年度 三枝 孝司『複製された場所』版画 菅間ゆみい『夢印象』工芸
第2回 41年度 廣瀬 義男『作品I』洋画	第25回 平成元年度 セツ・スズキ『アンタニハワカルメ』彫刻 片岡 順一『大気現象』写真
第3回 41年度 垣内 治雄『坐る』彫刻	第26回 2年度 山本 靖久『時の化石—豊沃のかたち』洋画 高橋あづま『遙かなる亜熱帯』工芸
第4回 43年度 川村 直子『'69-A・'69-B』洋画	第27回 3年度 荒井 正美『蟻の迷走』彫刻 相沢 順一『樹界』写真
第5回 44年度 山井イク夫『Laby70-1・2』立体造形	第28回 4年度 たべけんぞう『MAGNETIC FIELD92-2』立体造形 中森 万象『郎士元詩』書
第6回 45年度 伊藤 杉『天涯巡礼』日本画 大久保利圏『Straw』工芸 西川 万象『盧子諺詩』書 加賀谷武男『にっぽんNONSENSE ZONE』写真	第29回 5年度 王 青『チベットの娘』日本画 平野 朱美『電解ザウルス』工芸
第7回 46年度 中西新太郎『落日』洋画 島津 碧嵐『寒山詩』書 大谷 正夫『師ミス・サンダー(フェリス女学院)』写真	第30回 6年度 辻 忍『野辺』彫刻・立体造形 八木 香葉『笠澤美明詩 菊』書
第8回 47年度 佐々木英夫『人間の風景1・2』版画 林 良達『騎士』工芸	第31回 7年度 R 津田『封印—過去と未来—』彫刻・立体造形 中田 文『阿弥陀堂釜』工芸
第9回 48年度 河原 明『蜻蛉』彫刻 石川 充宏『Girl in chair』工芸	第32回 8年度 結城 勉『個々の領域—群像I』平面・立体 今井今日子『Twilight—黄昏—』工芸 中西 雅舟『百人一首より』書 中谷 晴男『山の民(ネバール)』写真
第10回 49年度 大山 鎮『語り』日本画	第33回 9年度 斎持 啓子『SANAGI—予兆』平面・立体 村田 則子『レクイエム』工芸 島田 幸舟『白鳥』書 渡部 満『1.8朝』写真
第11回 50年度 鎌田 恵子『Lost my way』工芸	第34回 10年度 笹井 弘『動植物』平面立体 堀口 成依『M!! きみ想う』工芸 大岸 昌子『源氏物語』書 君塚 宣良『還暦を迎える階段』写真
第12回 51年度 泉谷 淑夫『愁傷のモニュメント』洋画	第35回 11年度 川田 祐子『BIO-PANORAMA』平面立体 斎藤 龍也『白化粧象嵌花器』工芸 稻葉 竹苑『観雨』書 林 京子『午後の街』写真
第13回 52年度 井上 麦『黒の女-77』彫刻	第36回 12年度 川城 夏末『BALANCE 2000 No.1』平面立体 『BALANCE 2000 No.2』 深瀬知嘉子『陰翳』工芸 松原 隆『白の風景』書 吉田 陽子『最後の楽園(ガラバゴス)』写真
第14回 53年度 坂田 一之『MIRROR』立体造形	第37回 13年度 小林 秀幹『静かな流れの中で』平面立体 羽鳥 恵子『彩泥象嵌鉢』工芸 和田 清泉『花にのる』書 福田 幸子『女瞳私I.2.3.(NUDE)』写真
第15回 54年度 前本 利彦『暗い部屋 I, II』日本画 川口 流坡『菅原道真詩』書	第38回 14年度 高梨 裕理『水面』平面立体 三輪 博子『河』工芸 栃木 郁子『田中冬二の詩』書 嶺岸 良太『far away—いつか置いてきたもの—I-V』写真
第16回 55年度 和久井Who『HANGING』立体造形 市原 政一『ふるさと』写真	第39回 15年度 井上 達也『植勢II』平面立体 小田中 藍『「おやすみ」とは言つても…』工芸 幡野 恵子『論語』書 金親 敏雄『都市幻影』写真
第17回 56年度 坂井 彰夫『SEISHO』彫刻 高木 参平『BODY』工芸	
第18回 57年度 小泉 正彦『冬の木』洋画 井上 隆敏『イグナドバ選手』写真	
第19回 58年度 井上 麦『土の系譜』彫刻 茶木 静谷『竹齶松影』書	
第20回 59年度 東谷 武実『日蝕F』版画 西 雅秋『CASTING VIEWPOINT』野外彫刻 林 豆『クリスタル大鉢“洞”』工芸	
第21回 60年度 鶴見 厚子『夢の質感』洋画 石渡 四郎『硫黄島の再会』写真	
第22回 61年度 会田富二男『駆けゆく母子像』彫刻 浜本 卿舟『良寛詩』書	
第23回 62年度 高橋 洋子『WAVE (BLUE FENCE)』立体造形 森山 可余『俳句(原石鼎)』書	

もっと近くに、ずっと一緒に。

## Ladies' Fashion

アリス (レディスファッショ)ン  
ギブ (レディスファッショ)ン  
コレクションズS (レディスファッショ)ン  
コラボマ (古着ショッ)  
コレクションハウス (ヤングカジュアル)  
サントレ (レディスファッショ)ン  
ジパング (レディスファッショ)ン  
スパイス (カジュアルファッショ)ン  
ハートフル (レディスファッショ)ン  
ビノン (レディスファッショ)ン  
ブラックキャット (レディスファッショ)ン  
ブルーム (レディスファッショ)ン  
リタコレジオ (レディスファッショ)ン  
ロブ (ラウスショッ)  
ト

## Goods

銀座亞紀枝 藍の店 (刺し子)  
ウインク (アクセサリー雑貨)  
ウォークオーバー (携帯電話)  
ザクザク (ファブリックショッ)  
ザ・ペイスターズ (キャラクターグッズ)  
シーズ (ハウス雑貨)  
ストロベリードラッグス (ドラッグ&コスメティックス)  
高正バビエ (ランジェリーショッ)  
青山 花 茂 (フラワーハウス)  
100円プラザダイソー (100円ショッ)  
ベル・ビジュ (ジュエリー)  
芳林堂書店 (ブックス)  
銀座ホワイティ (香水専科)  
ミュゼ 21 (バラエティ雑貨)  
ミント (スポーツカード)  
ルビーティ (貴金属・アクセサリー)  
ロンド自由ヶ丘 (シューショッ)

## Foods & Liquors

銀座コージーコーナー (洋菓子)  
横浜 天 信 (弁当・惣菜)  
トップ (スーパー・マーケット)  
フードランド (リカーショッ)

## Cafe

文明堂茶館 ル・カフエ (喫茶)  
喫茶室 銀座ルノアール (喫茶)

## Restaurant & Bar

魚民 (のみくい処)  
カウベル (バブ)  
串の矢 (串料理)  
神楽食堂串家 (串揚バイキング)  
黒潮亭 (活魚居酒屋)  
さっぽろ亭 (ラーメン・中華)  
三熙 (中華料理)  
食の楽園 (海鮮しゃぶしゃぶバイキング)  
千山閣 (焼肉)  
素材屋 (旨いもの俱楽部)  
トブカ (インドカリー&欧風カリー)  
どんたく (とんかつ)  
ヤンキイス (スポーツカフェ)  
夢屋歌之助 (カラオケ)  
ヨコハマ・リトルダーリン (オールディーズライブハウス)

## Service & Culture, etc

アビバ (日本パソコン学院)  
古いコーナー<sup>1</sup>  
M.Mリフォーム (洋服リフォーム&クリーニング)  
カラダ・ファクトリー (整体・カイロ・iropractic・足裏専科)  
ガレリアセルテ (レンタルギャラリー)  
関内アートスクール (アートスクール)  
関内 本因坊 (圍碁サロン)  
月桃荘スタジオ (クリエイティブハウス)  
セルテ賃貸情報館 (不動産仲介)  
せんたあ画廊 (ギャラリー)  
高須クリニック (美容整形)  
たかの友梨ビューティクリニック (エステティック)  
武富士 (消費者金融)  
刀狩歯科医院 (デンタルクリニック)  
ネイル・シャイニー (ネイルサロン)  
NOVA (英会話)  
ビューティ田沢 (総合美容室)  
横浜B.B.ストリート (ストリートライブハウス)  
ロダン (理容室)  
ロッキー (靴修理・合鍵)  
W.A.S.ワールドエアシステム (格安航空券)

Precious for you  
**CERTE**  
<http://www.certe.gr.jp>

プロのために、  
プロの品揃えです。



画材／書道用品／製図デザイン用品コーナー

■本店文具館 イセザキ町・本店文具館4F・5F … TEL.(045) 261-1231

■藤沢店 藤沢駅南口名店ビル2F……………TEL.(0466) 26-1411

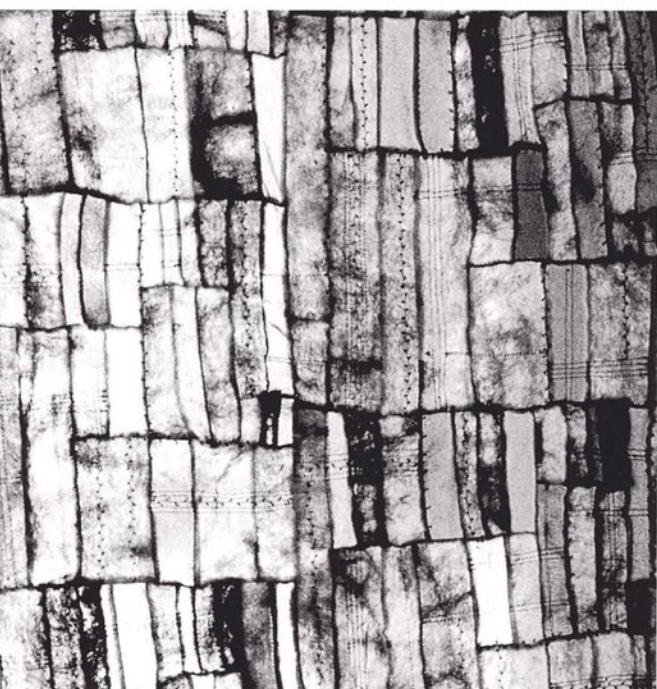
■厚木店 小田急線・本厚木駅前……………TEL.(046) 223-4111

※藤沢店は書道用具・日本画材のみ取り扱っております。

有隣堂ギャラリー〈イセザキ町・本店書籍館B1〉

# 布と遊ぶ

岡田ゆう子(2000年3月工芸染織科卒)。  
第39回日本現代工芸美術展入選。卒業  
製作「斜影」



資料・願書無料送付

学校見学随時

◎入学願書受付 推薦入学 10月1日～1月31日  
一般入学 11月1日～3月31日

◆学科構成

テキスタイルデザイン科 (昼3年)  
工芸染織科 (昼2年)  
友禅染色コース  
伝統織物コース  
プリンティングデザイン科 (夜2年)  
ウィービングデザイン科 (夜2年)



## 大塚テキスタイルデザイン 専門学校

(姉妹校) 大塚末子きもの学院 大塚情報処理専門学校

〒160-8560 東京都新宿区須賀町10番地 ☎03(3357)3671 FAX 03(3226)9745

URL : <http://www.otsukagakuin.ac.jp> E-mail : [info@otsukagakuin.ac.jp](mailto:info@otsukagakuin.ac.jp)



“夢”を“暖かさ”を“未来”を表現する。

旅先から届いた草のかおりのする絵葉書。街でふと見かけたやさしいまなざしのポスター。誕生日にさりげなく渡されたグリーティングカード。何気ない1枚の印刷物の中に“夢”を“暖かさ”をそして“未来”を表現できる力がある。技術が進み情報が豊富な今、人間の感性と個性を、そして人ととのコミュニケーションをなによりも大切にする企業でありたい。

ハシモトコーポレーションは、そう考えています。

株式会社ハシモトコーポレーション

営業品目／企画立案・デザイン・編集・オフセット印刷全般・カタログ・ダイレクトメール・ポスター・パンフレット・カレンダー・封筒全般・書籍・カラープロセスその他各種印刷関連業務DTPサービス・スキャニング・フィルム・印画紙出力・カラープリント・モノクロプリント・オンデマンド印刷・CD-R焼付け・ホームページ作成

本社／〒229-1112 神奈川県相模原市宮下2-11-4 TEL.042-774-0081㈹ FAX.042-774-0019 E-mail:info@hashico.co.jp  
東京営業所／〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目40-5 東久ビル3F TEL.03-5214-5862㈹ FAX.03-5214-5863  
URL.<http://www.hashico.co.jp>



# 第39回神奈川県美術展 関係者名簿

(平成15年9月9日現在)

## 顧問

近藤 弘明 井上 信道 圓鶴 勝三 蓮田修吾郎  
菅原 寿雄 中原 佑介 吉田 耕三

## 神奈川県美術展委員会

### 委員長

上野 豊

### 委員

神戸 由雄 海老塚耕一 大矢 紀 岡本 敦生  
建畠 哲 田中 稔之 柳生不二雄 赤堀 郁彦  
金子 賢治 丹羽 蒼処 船本 芳雲 江成 常夫  
大河原雅彦 小林 賢 三角 秀行

## 審査員

### 平面立体

大津 英敏 大矢 紀 建畠 哲 眞板 雅文  
村井 進吾 水沢 勉 母袋 俊也

### 工芸

赤堀 郁彦 金子 賢治 小林 貢 小山 哲男  
島田 文雄 関 稔 野口 晴朗

### 書

伊奈 翠陽 城所 湖舟 桟敷 東石 仙場 右羊  
渓口 幽城 田宮 文平 丹羽 蒼処

### 写真

江成 常夫 大河原雅彦 岡井 耀毅 木村 恵一  
土田ヒロミ 常盤とよ子 浜口タカシ

The 39th Kanagawa Art Exhibition 2003  
**第39回神奈川県美術展**

発行：神奈川県美術展委員会 ©2003

神奈川県民ホール ギャラリー課内

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1

TEL.045-633-3687

写真撮影：渡辺まこと

印刷：(株)ハシモトコーポレーション

発行：2003年9月9日



神奈川県美術展委員会  
神奈川県民ホール [財団法人神奈川芸術文化財団]  
神奈川県